

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:滋賀県

1. 事業名	明日のおうみ 女性・元気・応援プロジェクト
2. 実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	「明日のおうみ 女性・元気・応援プロジェクト」は、本県がこれまで重点的に取り組んできた、女性の労働力率のM字カーブの解消と労働力率のさらなる向上、管理職・役員登用の促進、起業、在宅ワークなどの多様な活躍支援、デジタル人材の育成、そして働く場における女性の活躍のための企業の環境整備を、さらに強化するもの。加えて、就業に関する困難や家庭内の問題等により孤独を感じ社会的に孤立し不安を抱えている女性、必要な支援が届いていない女性に対し、社会とのつながりを回復できるよう支援する。 本プロジェクトでは、まず、働く女性が抱える各課題に応じた取組の実施により、女性自身の資質と意欲の向上を図り、企業における女性の継続就労から、管理職、ひいては役員までのステップアップを切れ目なく支援していくことを目指す。 また、女性の多様な活躍を支援するため、起業などについて、ノウハウの提供だけでなく、ネットワークづくり等、多方面からの支援を実施する。それらに加え、様々な事情により企業への就職が難しい女性がそのキャリアを埋められさせないように、在宅ワークといった多様な働き方が選択できるようその普及に取り組み、あらゆる場面で女性の活躍を後押ししていく。さらに、孤独や不安で悩みを抱える女性に対しては、居場所の提供等を行うことで、必要な行政等の支援につながるよう支援する。 本プロジェクトはこうした一連の取組により、働く場における女性の希望が実現するとともに、埋もれている女性の能力が発揮され、多様な価値観の中で女性活躍を推進していくこと、ならびに困難や不安を抱える女性の社会とのつながりを守ること、女性が地域で生きがいややりがいを見出し、ひいては本県の地域・経済が活性化するという好循環を生み出していくことを目的とする。
4. 事業内容	本県において、働く場における女性の活躍を進めるうえで課題となっている、女性の継続就労および管理職・役員へのキャリアアップに対し、女性自身の意識改革を支援し、在宅ワーク・起業・就農といった多様な働き方で活躍する女性を支援するとともに、多様な価値観の中で、女性自身の個性や能力を十分に発揮できるよう、職種や仕事について考える機会を提供する。また、困難や不安を抱える女性が社会とのつながりを取り戻せるよう寄り添った支援を行い、女性が必要とする支援につなげる。なお、事業の実施にあたっては、多様な働き方の実現やデジタル人材育成の観点から、オンライン開催や動画の活用などデジタルスキルの習得にもつながる実施方法を工夫・検討する。□ 1 女性の多様な活躍支援 (1)働く場における女性活躍推進事業 ①明日のおうみ女性リーダー育成プロジェクト【新規】 女性管理職登用を進めるカギとなる企業トップ層の意識改革を進めるとともに、女性管理職およびその予備層のマネジメント力等のスキルアップを図ることで、経営陣側と女性自身の両側面から女性人材の登用に向けアプローチを行う。 ②働く女性のハッピー・キャリアセミナー 企業の啓発だけでなく、これまで阻害されていた女性自身の能力・意欲向上への支援を同時に行っていく必要があることから、企業で働く女性を対象に、資質向上および意欲高揚のためのセミナーを開催することにより、本県における女性の活躍推進を図る。 (2)女性の多様な働き方普及事業 女性の多様な働き方を普及するため、自宅等で仕事可能な在宅ワークという働き方を考えている女性を対象としたセミナーおよび在宅ワーカーと発注企業とのマッチング交流会を開催する。 (3)北の近江・女性活躍加速化事業【新規】 県北部地域の女性社員および人事担当者向けの研修を行い、就労継続や正規雇用を目指し、職場の女性活躍を推進するための意識改革につなげる。また、税・社会保障制度についての理解を深めてもらう。 (4)産業分野における女性の課題解決推進事業 県内企業や大学等に対してのフェムテック製品・サービスの開発事例紹介や女性の健康課題への理解・関心を促進するためのセミナーを開催するほか、女性ロールモデル情報についての提供や女性技術者・研究者が交流できる場を提供し、キャリア展望やネットワーク形成を図る。 2 デジタル人材・起業家育成事業 (1)北の近江・女性IT基礎スキル向上事業【新規】 県北部地域の女性を対象に、IT基礎スキルを学ぶための講座を開設する。また、講座終了後に個別相談や専門窓口の紹介を行い、就労への一歩を踏み出すことを支援する。 (2)女性の起業トータルサポート事業 起業を目指す女性、起業している女性に対し、支援セミナーの開催や交流の場の提供、コワーキングスペースの提供、オンラインマルシェへの出店のためのデジタルスキルを獲得するためのセミナー等開催の他、必要な情報の提供や行動に移すためのアドバイス、起業に関する情報の一元的な発信サイトの運営を中心に他機関とも連携し、ニーズに合わせて女性の起業を総合的、継続的に支援する。 (ア)オンラインマルシェ (イ)オンライン相談 (ウ)女性の起業ポータルサイト (エ)女性のためのコワーキング・チャレンジオフィス (オ)女性のチャレンジ・起業支援セミナー (カ)女性のためのBiz・チャレンジ相談 (キ)女性の起業家交流会 (ク)女性のチャレンジショップ体験 3 困難や不安を抱える女性等への支援 (1)女性のつながりサポート事業 就業に関する困難や家庭内の問題等により孤独を感じ、社会的に孤立し不安を抱えている女性、必要な支援が届いていない女性に対し、居場所の提供、生理用品の提供と併せて相談窓口案内の配布を行うことで、必要な行政等の支援につなげ、社会とのつながりを回復できるようにする。 (2)男女共同参画センター相談支援強化事業【新規】 様々な悩みや不安、トラウマ等を抱える女性への心理面からのサポートができるよう、男女共同参画心理相談員による相談事業を実施する。 (3)男性相談等事業【新規】 自立・生き方に関する相談、夫婦・家族関係に関する相談、性別による差別的取扱い、その他男女共同参画の推進を阻害すると認められること、DV(配偶者や恋人からの暴力)やセクシュアルハラスメント関しての相談等さまざまな悩みを持つ男性に対して、男性相談員による男性相談および弁護士による法律相談を実施することにより相談者の支援と自立を促していく。

5. 事業の効果		働く場における女性活躍推進事業でのシンポジウムやセミナーについて、参加者が定員を超えており、女性管理職への登用や女性自身のキャリアアップへの高まる関心に対応する内容の事業を開催できた。 特に経営者層向けの事業については、企業における女性活躍への新しい視点や体制、経営戦略についての学びがあった、という意見が多かった。 女性の多様な働き方普及事業では、働きに出ることができる女性に対しては、「マザーズジョブステーション」で再就業支援をしつつ、地理的条件や家庭の事情等で働きに出ることが困難な女性に対しては、在宅ワークという新しい働き方を提示することにより、県内全域による女性の労働力率のM字カーブの改善につなげた。 北の近江・女性活躍加速化事業【新規】では、定員を上回る参加者があり、女性向け、企業向けの両方の事業について、アンケートの満足度が高かった。 北の近江・女性IT基礎スキル向上事業【新規】でのデジタルの講座は、ワードやエクセルなどの操作の基礎から、採用面接で使用するZoom操作まで、しばらくパソコンから遠ざかっていた方にも自信につながるような学びがあった、という意見が多かった。 女性の起業トータルサポート事業では、女性起業者の支援をコーディネートし、個別の相談にも対応することができ、64名の新規起業および事業継続につなげることができた。						
5-2. 効果検証の概要		参加者数、セミナー/交流会の事後アンケートにおける「参考になった」など肯定的意見の割合、講座受講後、さらなるスキルアップや就労相談、就業、業務受注など、就労への一歩をふみ出した人の人数など						
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価		(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
			女性活躍推進認証企業数(二つ星以上)	(アウトカム)	160社	(R7)	157社	(R7.1)
			評価		評価の理由、事情等			
			2.概ね達成		本報告値は、令和6年度の年次報告値であるが、年度末には目標値に届くことが想定されるため。			
		(2) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
				()		()		()
評価			評価の理由、事情等					
7. 今後の課題		本事業を実施することにより、参加者の組織の枠を超えた交流により、新たな発見を得ることができたが、経験やスキル不足によるプレッシャーや職場環境がまだまだ男性中心であるというような声も聞かれたことから、女性自身のスキル向上を一層支援し、男性経営者や上司の意識改革を進めていく必要がある。 また、女性自身も、特有の健康課題に留意するよう呼びかけたいところ。 在宅ワークについても、企業側とワーカー側の求めるスキルに齟齬があることなど課題は多くある。そのため、今後は在宅ワーカーへのスキル向上の支援や、企業とワーカーのマッチング機会の充実、在宅ワーカーのフォローアップ等を図る必要がある。 相談事業については、相談員のスキルアップなどが課題となっている。						
8. 事業の実施体制(連携の状況)		連携体制:仕事と生活の調和・女性活躍推進会議 [※] 状況:各事業実施に際し、各団体の会員等への周知、広報について連携して行い、県内企業等への女性の活躍推進の気運醸成を図ることができた。						